

2025 年 3 月 25 日

武蔵野美術大学 学長 殿

海外研修報告書

下記の通り、海外研修の報告をいたします。

記

氏名	宮寺彩美	所属	油絵学科グラフィックアーツ研究室
		職位	助教

研究課題	北欧地域の民芸品の取材
研究先機関	博物館、美術館など
主な滞在地 (国・都市名)	デンマーク・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド
渡航日程	2024 年 8 月 2 日 ～ 2024 年 8 月 16 日 (15 日間)
研究目的・理由	日本の郷土玩具をモチーフとして普段から制作しており、他の地域の郷土玩具や民芸品からの新しい展開を取り入れるため。 また風景をモチーフとした制作にはその場所によって変わる地形、空気などを作品に取り入れるため。
研究成果発表予定 (展覧会、著書、 論文発表等)	今後の展示で発表予定

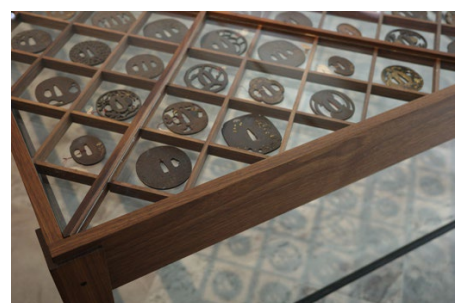
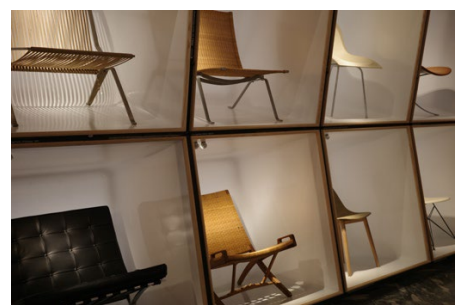
今回の海外研修では、デンマーク・コペンハーゲンから隣国のノルウェー・スウェーデン・フィンランドへ移動していった。

本来の目的の民芸品の取材であったが、あまり見つけることができず主に美術館・博物館訪問がメインとなった。

○コペンハーゲン

・デザインミュージアム

北欧の家具、日曜工芸品、商業ポスターなどが展示されていた。展示品はもちろん、展示方法が気になった。家にあるような家具の中に展示品が設置してあったり、小窓から見ることができたりと人のコレクションを覗き見しているような感覚になった。日本にも多く輸入されている家具などを見ることができた。



・デンマーク王立美術館

中世から現代美術まで、北欧出身の作品が多数展示されていた。年代ごとに展示室が分けられており、年代によって描かれるものや技法を比較することができるため見やすい展示方法だった。



研究内容

・ルイジアナ美術館

中庭を囲むように建物が配置され、途中で庭に出て彫刻を鑑賞することができた。ジャコメッティの彫刻を間近で見ることができたのは非常に良い経験だった。現代作家の木版画の作品が展示してあり、普段使用している和紙が海外でも使われていて嬉しく思った。美術館の敷地内には森があり、少し歩くと海に出れる場所もあり、自然も展示物の一部になっているようだった。



○オスロ

・ムンク美術館

ムンクの作品を一堂に鑑賞することができた。油彩作品だけでなく、ドローイングや版画など様々な技法の作品が展示しており、それぞれの作品に触れることができた。実際に使用されていた画材なども展示されていた。油彩の印象が一番あるが、銅版画と木版画の作品を見れたのは新鮮だった。

私はリトグラフを主として制作しているが、版種にとらわれず他の技法も取り入れていきたいと感じた。





・オスロ王立美術館

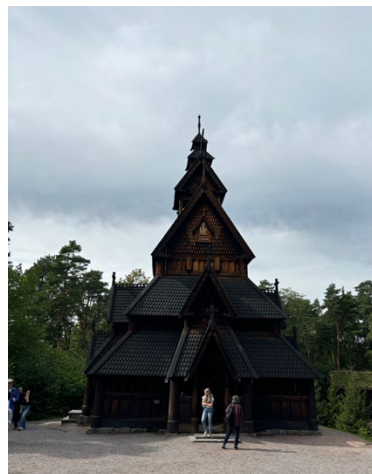
コレクション展のほか、ロスコーや企画展の刺繍作家の作品も展示されていた。特に印象的だったのは、展示室ごとに合わせた音楽が流れていた部屋で、時代背景に合った音楽が作品と調和していた点が特に印象深かった。



(展示写真なし)

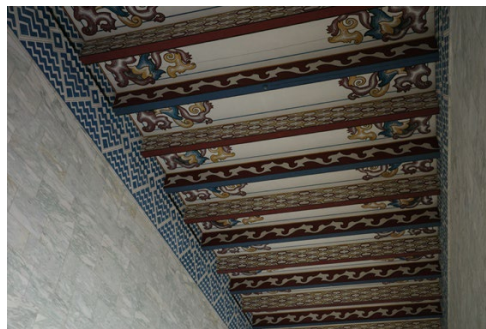
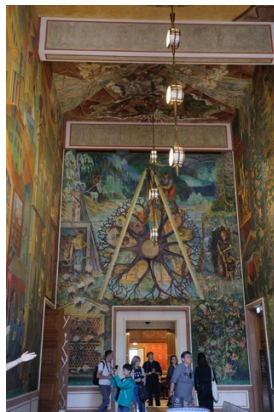
・ノルウェー民族博物館

昔の建物が移設され、家の中で当時の生活を再現しながら働いているスタッフの方々がいた。移設された建物の中には高床式の建物もあり、寒い冬を乗り越える工夫をしているのかと感じた。



・オスロ市庁舎

入った瞬間に壁画・天井絵の大きさに感動するが、階段や床にも細かな装飾が施されており丁寧な作りが感じられた。



○スウェーデン・ストックホルム

街歩きが主だったため美術館などの訪問なし



○フィンランド・ヘルシンキ

・スオメリナの要塞

市中心部の港から船でスオメリナ島に移動。歴史を感じる建物と、蓄積された自然の対比があり、作品に活かせそうな場所であった。



大学授業における 研究成果の還元	研修を元にして作品制作・発表し学生に還元する。
-----------------------------	--------------------------------

研究日程（全滞在期間）

出発日 (現地時間)	出発地 (国・都市名)	到着日 (現地時間)	到着地 (国・都市名)	研究内容等	滞在 日数
8/2	日本・成田	8/3	デンマーク・コペンハーゲン	博物館・美術館訪問	3 日
8/6	デンマーク・コペンハーゲン	8/9	ノルウェー・オスロ	博物館・美術館・市庁舎訪問	3 日
8/9	ノルウェー・オスロ	8/12	スウェーデン・ストックホルム	博物館・美術館訪問	3 日
8/12	スウェーデン・ストックホルム	8/15	フィンランド・ヘルシンキ	美術館訪問・市内散策	3 日
8/15	フィンランド・ヘルシンキ	8/16	日本・成田	帰国	
備考					

以上

- ※ 欄が不足する場合は、適宜、行を挿入するなどして記入してください。別紙添付も可。
- ※ その他特記事項等がある場合は、備考欄に記入してください。